令和９年度

（令和９年４月入学）

（令和９年10月入学）

北 海 道 大 学 大 学 院 理 学 院

博 士 後 期 課 程

冬期募集

学 生 募 集 要 項

（社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を含む）

令和８年 11 月

留意事項

Ⅰ 一般選抜及び社会人特別選抜

自然史科学専攻出願者は、英語能力の資料（TOEFL、TOEIC のスコアシート原本）を提出することとする。詳細は５～７頁を参照すること。

試験日程等については、願書受理期間を踏まえ、各自確認すること。

今年度の自然史科学専攻の夏期募集（令和８年８月 10・11 日実施）を受験し、既にスコアシートを提出している者は提出の免除を願い出ることができる(新たにスコアシートを提出することも可)。

該当者は入学願書の「スコアシート提出免除申請チェック欄」にチェックを入れること。

Ⅱ 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜出願者は、日本語能力又は英語能力を示す証明書を提出すること。

日本語能力又は英語能力を示す証明書を提出することが困難な者は、日本語又は英語の成績がわかる出身大学院の学業成績証明書等を提出すること。

【外国籍の出願者への留意事項】

外国人留学生として在籍するには、在留資格「留学」を取得する必要がありますが、「在留資格認定証明書」は、安全保証輸出管理の審査や出入国管理局の手続きにより申請から発行までに３ヶ月以上かかる場合もあります。

また、希望する研究内容が安全保障輸出管理規程の規制事項に該当する場合は、制限がかかる場合がありますのでご留意願います。

《参考　北海道大学　査証（ビザ）の申請と取得手続きについて》
日本語版:https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/preparation/visa
英語版：
https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/en/preparation-en/visa-en

《参考　経済産業省　安全保障貿易管理》https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

目　　次

理学院　アドミッション・ポリシー …… 1

Ⅰ　一般選抜及び社会人特別選抜
1．募集人員 …… 2
2．出願資格 …… 2
3．出願資格予備審査 …… 3
4．願書受理期間 …… 3
5．出願書類 …… 4
6．願書提出先 …… 8
7．検定料 …… 8
8．選抜方法 …… 8
9．試験日時・会場 …… 8
10. 合格発表 …… 8
11. 入学手続及び必要経費 …… 8
12. 注意事項 …… 9
13. 長期履修について …… 9
14. その他 …… 9

Ⅱ　外国人留学生特別選抜
1．募集人員 …… 10
2．出願資格 …… 10
3．出願資格予備審査 …… 10
4．出願期間 …… 11
5．出願手続・検定料の支払い …… 11
6．出願書類 …… 12
7．選抜方法 …… 13
8．合格発表 …… 13
9．入学手続及び必要経費 …… 13
10. 注意事項 …… 13
11. 長期履修について …… 13

北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項 …… 14
長期履修について（案内） …… 15
指導教員及び研究内容一覧表 …… 16

［所定用紙等のとじ込み］
① 入学願書・履歴書・受験票・写真票
② 入学後の研究計画書
③ 受験票送付用封筒（480 円分の切手を貼付すること）
④ 合否通知用及び連絡用シール
⑤ 検定料振込用紙
⑥ 履歴書Ｂ（外国の学校教育課程出身者用）

［専攻により提出する書類］
① 数学専攻
② 物性物理学専攻
③ 自然史科学専攻（地球惑星ダイナミクス講座、地球惑星システム科学講座、地震学火山学講座）
④ 自然史科学専攻（多様性生物学講座）
⑤ 自然史科学専攻（科学コミュニケーション講座）

個人情報の取扱いについて

(1) 本学では、個人情報の取扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願及び出願資格予備審査に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

(4) 出願及び出願資格予備審査に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者についてのみ、入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③就職支援関係、④授業料等に関する業務を行うために利用します。

(5) (4)の個人情報のうち、氏名、住所等の連絡先に限って、安全確保の措置を講じた上で、北大フロンティア基金、本学関連団体である北海道大学理学部同窓会及び北海道大学校友会エルムからの連絡を行うために利用する場合があります。

(6) EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いについては、対象者に別途お知らせします。当該規則の適用となる者（欧州経済領域（EEA）加盟国内から出願する者）は出願前に理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に申し出てください。

理学院　アドミッション・ポリシー

数学、物理学、化学、生物学、地球科学などの基礎科目と関連する専門科目を履修し、より専門的で高度な学術研究に従事していくために必要な各専門分野に関する十分な知識と技能を有し、自然の摂理解明に意欲を持って自主的に研究する能力・素質・適性等を有すること。

・入学者選抜の基本方針（多角的な評価方法）

【一般選抜】

筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。筆記試験においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の評価を特に重視して行う。また、口頭試問等においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」の評価を特に重視して行う。併せて、入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

【社会人特別選抜】

筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。筆記試験においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の評価を特に重視して行う。また、口頭試問等においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」の評価を特に重視して行う。併せて、入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

なお、社会人特別選抜においては、専門科目及び外国語の学力審査に代えて、社会における研究の成果等に対する審査（試問等）によって学力を判定することがあり、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「課題発見力」、「関心・意欲」の評価を特に重視して行う。

【外国人留学生特別選抜】

口頭試問等により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」を特に重視して評価を行う。併せて、入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

・入学者選抜の基本方針（評価方法の比重）

【博士後期課程】

入試区分	評価方法等（筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。）	学力の３要素			理解力	課題発見力	関心・意欲	教養
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度				
一般選抜	筆記試験	◎	◎		○			
	口頭試問等 ※２	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						
社会人特別選抜	筆記試験	◎	◎		○			
	社会における研究の成果等に対する審査（試問等）※「専門科目及び外国語の学力」に代えて評価するもの。	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	口頭試問等 ※２	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						
外国人留学生特別選抜	口頭試問等 ※１	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	入学後の研究計画書、成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						

※１：Web 会議システム等により試問を行う。

※２：修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（試問等）を行う。また、各専攻・分野に応じて専門科目及び外国語の学力の学力審査を含む場合がある。

（注）◎は特に重視する要素を、○は重視する要素を指す。

Ⅰ　一般選抜及び社会人特別選抜

１．募集人員

専　　攻	募集人員		各専攻等のホームページ
	令和９年 ４月入学	令和９年 10 月入学	
数　学　専　攻	１３名		https://www2.sci.hokudai.ac.jp/dept/math/
物性物理学専攻	３名		https://phys2.sci.hokudai.ac.jp/cond-mat/
自然史科学専攻	８名		(地球惑星ダイナミクス講座・地球惑星システム科学講座・地震学火山学講座) https://geodynamics.sci.hokudai.ac.jp/dyna-admin/ https://epsys.sci.hokudai.ac.jp/ https://isv.sci.hokudai.ac.jp/ (多様性生物学講座) https://biodiversity.sci.hokudai.ac.jp/bd/ (科学コミュニケーション講座) https://sc.sci.hokudai.ac.jp/
計	２４名程度		

＊ ① 専攻内容の詳細については、直接各専攻に照会すること。
② 自然史科学専攻に出願する者は、１.「地球惑星科学等（地球惑星ダイナミクス講座・地球惑星システム科学講座・地震学火山学講座」、２.「多様性生物学講座」、３.「科学コミュニケーション講座」の３つのうちから、いずれか１つを選択し、入学願書の「志望専攻」欄下段（　）内の□に「レ」を記入すること。
③ 各専攻の募集人員には、「社会人特別選抜」及び「外国人留学生特別選抜」若干名を含む。
在職のまま修学を希望する者は、「社会人特別選抜」として出願することができる。
④ 宇宙理学専攻は冬期の募集を行いません。

２．出願資格

(1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第３項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第９号）第５条の２に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）
(2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）
(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）
(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）
(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第１条第２項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）
(6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）
(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
① 大学を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育におけ

る授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(8) 本学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、大学院入学の前までに 24 歳に達するもの

＊　外国人留学生が出願する際には、事前に受入希望教員と必ずコンタクトをとり、受入内諾を得ること。なお、教員からの受入内諾は合格を確約するものではない。
**　また、「専攻により提出する書類」（志望研究室調査票）における補足の記述についても、併せて確認すること。**

＊　上記出願資格を有する者で、令和９年 10 月入学を希望する者は、14 頁の「北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項」を参照のうえ、入学願書の「入学期」欄に「レ」を記入すること。

３．出願資格予備審査

申請期間：令和８年 11 月 26 日(木)　～　令和８年 11 月 30 日(月)

「２．出願資格」の(7)又は (8)のいずれかに該当する者は、願書を受理する前に出願資格に関する予備審査を行うので、この期間内に「５．出願書類」に志願者の宛先を明記し 110 円切手を貼付した出願資格予備審査結果通知用封筒（定形）を添えて願い出ること。

なお、**予備審査申請に当たっては検定料を納付してはいけない。**検定料は下記(注)により納付すること。

（申請はこの期間に郵送により必着のこと。）

(注)　出願資格予備審査の結果については、令和８年 12 月 11 日(金)頃に通知を発送するので、出願資格を認められた場合、令和９年１月８日(金)までに、「７．検定料」を別添の振込用紙を用いて、銀行、ゆうちょ銀行・郵便局から納付し、その受付証明書を提出すること。受付証明書を所定の期間内に提出しない場合は、願書を受理しない。
　ただし、国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。

４．願書受理期間

受理期間：令和９年１月５日(火)　～　令和９年１月８日(金)

「２．出願資格」の
(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
(2) 外国の学校教育課程出身者
(3) 外国の学校が行う通信教育履修者
(4) 外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程修了者
(5) 国際連合大学の課程修了者
(6) 外国の大学で基礎力審査に相当するものに合格した者

のいずれかに該当する者は、この期間内に「５．出願書類」に「７．検定料」の受付証明書を添えて出願すること。

（願書はこの期間に郵送により必着のこと。）

５．出願書類

(1) 一般選抜による志願者

＊　「２．出願資格」の(7)又は(8)に該当する者は、「３．出願資格予備審査」申請期間内に提出すること。

＊　○は必ず提出する書類、△は該当者のみ提出する書類

提出書類		出願資格		備　　考
		(1)(2) (3)(4) (5)(6)	(7) (8)	
1	入学願書・履歴書・受験票・写真票	○	○	〔所定用紙〕 外国の学校教育課程出身者及び外国の学校が行う通信教育履修者は、**「履歴書B」**（所定用紙）を添付すること。
2	入学後の研究計画書	○	○	〔所定用紙〕
3	修士論文（写）	△		①修士の学位又は専門職学位を有する者のみ提出すること。 ②本学院（理学研究科を含む。）出身者は提出不要
4	修士課程における研究内容の要旨（3,000字以内）	△		修士課程修了又は修了見込みの者のみ提出すること。 ただし、数学専攻に係る「研究内容の要旨」は「学習及び研究内容の要旨」とする。
5	研究業績目録、主たる研究論文（写）		○	〔様式任意〕
6	研究歴証明書		○	〔様式任意〕 研究題目・研究期間に関する大学・研究所等の長又は研究指導者の証明書
7	出身大学院等の学業成績証明書	○	○	①本学院（理学研究科を含む。）出身者は提出不要 ②出願資格(6)、(7)、(8)による志願者は最終出身学校の学業成績証明書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
8	出身大学院等の修了（見込）証明書	○	○	①出身大学院等の長が作成したもの。 （既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。） ◎中華人民共和国（台湾、香港、マカオを除く）の大学院等を修了、または修了見込みの者は、修了（見込）証明書に加えて、英語による以下の書類を提出してください。 既修了者　…a 学歴証書電子登録票（Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate） 修了見込者…a オンライン在籍認証レポート（Online Verification Report of Student Record） 上記のうち、書類aは中華人民共和国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）より取得してください。 また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。 ②本学院（理学研究科を含む。）出身者は提出不要 ③出願資格(7)、(8)による志願者は最終出身学校の卒業（修了）証明書 ④出願資格(6)による志願者は基礎力審査に相当する審査の確認書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
9	出願専攻により提出すべき書類	△	△	別表「(3) 出願専攻により提出すべき書類」で確認のうえ提出すること。
10	受験票送付用封筒	○	○	〔所定封筒〕 封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、480円分の切手を貼付して提出すること。出願後に転居等で宛先を変更する場合は、必ず本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に連絡すること。

提出書類		出願資格		備　　考
		(1)(2) (3)(4) (5)(6)	(7) (8)	
11	合否通知用及び連絡用シール	○	○	〔所定用紙〕 シールには、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記して提出すること。 出願後に転居等で宛先を変更する場合は、必ず本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に連絡すること。
12	最終出身学校長又は関係教員の推薦書	△	△	〔様式任意Ａ４判〕 数学専攻・物性物理学専攻出願者のみ提出することができる（任意提出）。
13	英語能力の資料 (TOEFL、TOEIC のスコアシート原本)	△	△	**自然史科学専攻出願者**は①又は②いずれかのスコアシートを提出すること。 スコアシートは原本の提出とする。（下記の（注）を参照） ① TOEIC 公開テスト【Listening & Reading Test に限定】 （令和６年７月以降に受験したスコア） ※デジタル公式認定証を印刷したものを原本と同等の扱いとして提出できる。 ② TOEFL-iBT（Home Edition 可） （令和６年７月以降に受験したスコア） 令和８年春以降に受験した者は、ETS アカウントから PDF でダウンロードしたものを印刷し提出すること。 なお、TOEFL-ITP、TOEIC-IP 及び TOEIC-Bridge は認められない。 ③国内又は外国の大学(院)において英語による教育を受けた者 出身大学(院)において英語による教育を受けたことを当該大学(院)が証明した書類（Medium of Instruction certificate 等）を提出することで、英語スコアシートの提出を免除できる場合がある。該当する場合は、本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当まで問い合わせること。 なお、今年度の夏期募集（令和８年８月 10・11 日実施）を受験し、既にスコアシートを提出している者は提出の免除を願い出ることができる（新たにスコアシートを提出することも可）。該当者は入学願書の「スコアシート提出免除チェック欄」にチェックを入れること。
14	出願資格予備審査 結果通知用封筒		○	定形郵便用封筒に、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、110 円分の切手を貼付すること。

（注）英語能力の資料（スコアシート）提出の取扱いについて
出願期間に提出したスコアシートの追加又は差し替えは認めません。

(2) 社会人特別選抜による志願者

＊　「２．出願資格」の(7)又は(8)に該当する者は、「３．出願資格予備審査」申請期間内に提出すること。

＊　○は必ず提出する書類、△は該当者のみ提出する書類

提出書類		出願資格		備　　考
		(1)(2) (3)(4) (5)(6)	(7) (8)	
1	入学願書・履歴書・受験票・写真票	○	○	〔所定用紙〕 外国の学校教育課程出身者及び外国の学校が行う通信教育履修者は、**「履歴書Ｂ」**（所定用紙）を添付すること。
2	勤務先の人事等の権限を有する者が発行する在職証明書	○	○	〔様式任意〕 合格者は入学手続き時に勤務先の人事等の権限を有する者が発行する「在職のまま入学することの承諾書（様式任意）」を提出することになるので、事前に勤務先に承諾を得ておくこと。
3	入学後の研究計画書	○	○	〔所定用紙〕
4	研究業績目録、主たる研究論文（写）	○	○	〔様式任意〕

提出書類		出願資格		備　　考
		(1)(2) (3)(4) (5)(6)	(7) (8)	
5	研究歴証明書	○	○	〔様式任意〕 研究題目・研究期間に関する大学・研究所等の長又は研究指導者の証明書
6	最終出身大学院等の学業成績証明書	○	○	①本学院（理学研究科を含む。）出身者は提出不要 ②出願資格(6)、(7)、(8)による志願者は最終出身学校の学業成績証明書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
7	最終出身大学院等の卒業（修了）証明書	○	○	①出身大学院等の長が作成したもの。 （既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。） ◎中華人民共和国（台湾、香港、マカオを除く）の大学院等を修了、または修了見込みの者は、修了（見込）証明書に加えて、英語による以下の書類を提出してください。 既修了者　…a 学歴証書電子登録票（Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate） 修了見込者…a オンライン在籍認証レポート（Online Verification Report of Student Record） 上記のうち、書類aは中華人民共和国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）より取得してください。 また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。 ②本学院（理学研究科を含む。）出身者は提出不要 ③出願資格(7)、(8)による志願者は最終出身学校の卒業（修了）証明書 ④出願資格(6)による志願者は基礎力審査に相当する審査の確認書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
8	出願専攻により提出すべき書類	△	△	別表「(3) 出願専攻により提出すべき書類」で確認のうえ提出すること。
9	受験票送付用封筒	○	○	〔所定封筒〕 封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、480円分の切手を貼付して提出すること。出願後に転居等で宛先を変更する場合は、必ず本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に連絡すること。
10	合否通知用及び連絡用シール	○	○	〔所定用紙〕 シールには、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記して提出すること。 出願後に転居等で宛先を変更する場合は、必ず本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に連絡すること。
11	勤務先の人事等の権限を有する者又は大学・研究所等の研究指導(予定)者の推薦書	△	△	〔様式任意Ａ４判〕 数学専攻・物性物理学専攻出願者のみ提出することができる（任意提出）。

提出書類		出願資格		備　　考
		(1) (2) (3) (4) (5) (6)	(7) (8)	
12	英語能力の資料 (TOEFL、TOEIC のスコアシート原本)	△	△	**自然史科学専攻出願者**は①又は②いずれかのスコアシートを提出すること。 スコアシートは原本の提出とする。(下記の（注）を参照) ① TOEIC 公開テスト【Listening & Reading Test に限定】 （令和６年７月以降に受験したスコア) ※デジタル公式認定証を印刷したものを原本と同等の扱いとして提出できる。 ② TOEFL-iBT (Home Edition 可) （令和６年７月以降に受験したスコア) 令和８年春以降に受験した者は、ETS アカウントから PDF でダウンロードしたものを印刷し提出すること。 なお、TOEFL-ITP、TOEIC-IP 及び TOEIC-Bridge は認められない。 ③国内又は外国の大学(院)において英語による教育を受けた者 出身大学(院)において英語による教育を受けたことを当該大学(院)が証明した書類 (Medium of Instruction certificate 等) を提出することで、英語スコアシートの提出を免除できる場合がある。該当する場合は、本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当まで問い合わせること。 なお、今年度の夏期募集（令和８年８月 10・11 日実施）を受験し、既にスコアシートを提出している者は提出の免除を願い出ることができる (新たにスコアシートを提出することも可)。該当者は入学願書の「スコアシート提出免除チェック欄」にチェックを入れること。
13	出願資格予備審査 結果通知用封筒		○	定形郵便用封筒に、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、110 円分の切手を貼付すること。

（注）英語能力の資料（スコアシート）提出の取扱いについて
出願期間に提出したスコアシートの追加又は差し替えは認めません。

(3) 出願専攻により提出すべき書類

専　攻　名		提　出　書　類	備　　考
数　学　専　攻		1．志望理由書（所定用紙）	数学専攻を志願する理由を記入すること。 「修士学位等を取得または取得見込時期」欄の該当箇所に✔を入れること。
物性物理学専攻		1．志望研究室調査票 （所定用紙）	記入にあたり、志望研究室の担当教員に事前に必ず連絡をとり、研究室への受入れと調査票への記載の許可を得ること。
自然史科学専攻	地球惑星ダイナミクス講座 地球惑星システム科学講座 地震学火山学講座	1．志望研究室調査票 （所定用紙）	志望研究室調査票に「指導教員及び研究内容一覧」から志望する指導教員名を選んで記入すること。
	多様性生物学講座	1．志望指導教員調査票 （所定用紙）	志望指導教員調査票に志望する指導教員名を記入して提出すること。
	科学コミュニケーション講座	1．志望研究室調査票 （所定用紙） 2．志望理由書 （所定用紙）	

６．願書提出先

〒060-0810　札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当

＊　願書は郵送により提出すること。また、必ず**「速達の」書留郵便**とし、**「大学院入学願書在中」と朱書**すること。募集要項のとじ込みにある「受験票送付用封筒」ではなく、別途用意した封筒で郵送すること。

７．検定料　　30,000 円

① 本学大学院（他研究科・他学院を含む。）の修士課程を修了見込みの者及び出願時において国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。
※ 北海道大学以外からの推薦による国費外国人留学生採用者は、採用(予定)通知書の写を提出すること。
② 検定料は、「理学院所定用紙等のとじ込み」にある「検定料振込用紙」を用いて、銀行、ゆうちょ銀行･郵便局から納付し、「検定料受付証明書」(Ｅ)を入学願書の所定の欄に貼付して提出すること。
③ 既納の検定料は、以下の場合を除き返還しない。
・検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
・検定料を誤って二重に払い込んだ場合

８．選抜方法

修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（試問等）、専門科目及び外国語の学力、入学後の研究計画書等の審査結果を総合して合格者を決定する。

なお、「社会人特別選抜による志願者」については、「専門科目及び外国語の学力審査」に代えて、社会における研究の成果等に対する審査（試問等）によって学力を判定することがある。

＊　自然史科学専攻（多様性生物学講座）は、対面での口頭試問に加えオンライン形式での口頭試問も実施する。対面とオンラインのどちらを希望するかを「志望指導教員調査票」及び「オンライン口頭試問希望調査票」に記入すること。オンライン形式の口頭試問は、原則、対面での口頭試問と同じ日時に行う。

＊　自然史科学専攻（科学コミュニケーション講座）の口頭試問は、オンライン形式で実施する場合がある。

＊　自然史科学専攻では、TOEFL 又は TOEIC の得点を加味して選抜する。TOEFL 及び TOEIC の試験日程等については、願書受理期間を踏まえ、各自で確認すること。

９．試験日時・会場

日　　時：令和９年２月８日(月)　～　２月９日(火)
試験会場：北海道大学大学院理学院（札幌市北区北 10 条西８丁目）

＊　試験の日時、試験室等の詳細については、受験票の送付時に別途通知する。

10. 合格発表

合格者について、令和９年２月 19 日(金)16：30 頃に本学院ホームページに受験番号を掲示するとともに、合格者のみに通知する。

11. 入学手続及び必要経費

入学手続きについては、合格通知の際に併せて連絡する。
入学料　282,000 円（予定額）
＊　本学大学院の修士（博士前期）課程から引き続き博士後期課程に進学する者は不要

授業料　267,900 円〔年額 535,800 円のうちの前期分〕（予定額）
＊　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

12. 注意事項

① 入学試験当日は、受験票を必ず持参して机上に置くこと。
本学院が必要と判断した場合は、本人確認を行うため、身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））を持参すること

② 出願後はいかなる事情があっても志望の変更を認めない。

③ 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合や本人以外の写真や容姿を加工した写真を出願書類として使用することは不正行為として取り扱い、入学許可を取り消すことがある。

④ 試験中に、カンニングをする行為、他の受験者へのカンニングの手助けをする行為は不正行為とする。また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用した場合も不正行為とする。なお、イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものと見なす。
ただし、これらの機器の使用に関しては事前に許可があった場合は不正行為から除く。
試験実施の際に本学院の指示に従わない行為を行った場合は不正行為となる場合がある。

⑤ 不正行為を発見した場合、その場で、受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなり、受験した全ての教科・科目の成績を無効とする等の対応をとる場合がある。
合格後に不正行為が判明した場合には、入学許可を取り消すことがある。

⑥ 病気・負傷や障がい等のために受験上特別な配慮を必要とする場合は、出願までに理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当へ申し出ること。※修学上希望する配慮事項がある場合も併せて相談すること。
《参考》北海道大学入学案内　合理的配慮の提供に関する情報
https://www.hokudai.ac.jp/admission/gouriteki-hairyo.html

13. 長期履修について

本学院では長期履修制度を設けているので、長期履修を希望する者は 15 頁の「長期履修について（案内)」を熟読のうえ、申請すること。

14. その他

願書が受理された者には、令和９年１月 18 日(月)頃に受験票を発送する。

◎出願に関して不明な点等があれば、下記まで連絡すること。

〒060-0810　札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課 大学院教育担当
（窓口受付時間　平日 8:30～12:15、13:00～7:00）
℡ (011) 706-3675　　Email：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院理学院
ホームページ　https://www2.sci.hokudai.ac.jp/gs/

Ⅱ　外国人留学生特別選抜

１．募集人員

専　　攻	募集人員	
	令和９年 ４月入学	令和９年 10 月入学
数　学　専　攻	若干名	
物性物理学専攻		
自然史科学専攻		

＊ 宇宙理学専攻は冬期の募集を行いません。

２．出願資格

入学試験を受験するために来日することが困難な外国人で、かつ、入学後に主任として研究指導担当を希望する本学院担当専任教員（以下「受入教員」という。）の推薦書により能力・学力があると保証された者で、次のいずれかの出願資格を有する者

(1) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）

(2) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第１条第２項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）

(3) 外国の学校又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（大学院入学の前までに学位を授与される見込みの者を含む。）

(4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(5) 本学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、大学院入学の前までに 24 歳に達するもの

＊　事前に受入教員と必ずコンタクトをとり、受入内諾が得られた場合はインターネット出願に必要となるパスワードを受領すること。なお、教員からの受入内諾は合格を確約するものではない。

また、受入教員に推薦書（様式任意）を作成してもらい、出願期間中に直接、大学院教育担当へ提出してもらうように依頼すること。

＊　令和９年 10 月入学を希望する者は、14 頁の「北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項」を参照のうえ、インターネット出願登録画面で「令和９年 10 月入学」を選択すること。

３．出願資格予備審査

申請期間：令和８年 11 月 26 日(木)　～　令和８年 11 月 30 日(月) 午後５時（日本時間）

「２．出願資格」の

(4) 文部科学大臣の指定した者

(5) 個別の入学資格審査による志願者

のいずれかに該当する者は、正式な出願手続きの前に出願資格に関する予備審査を行うので、この期間内に「６．出願書類」を PDF ファイルで E-mail に添付して送付すること。

出願資格予備審査書類に虚偽の記載等があった場合は、出願資格を取り消すことがある。

【送付先 E-mail アドレス：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp】

なお、出願資格予備審査申請にあたっては検定料を納付してはいけない。

出願資格予備審査の結果は、令和８年 12 月 11 日(金)頃に本人あてメールで通知するので、出願資格

が認められた者は、速やかに「４．出願期間」内に「５．出願手続・検定料の支払い」を行うこと。
（ただし、国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。）

４．出願期間

◆ **インターネットでの登録：令和８年 12 月 11 日(金) ～ 令和８年 12 月 16 日(水)**
午後５時（日本時間）

＊ インターネット登録後、願書書類を PDF にして 12 月 16 日(水)までにメール送信すること。
【送付先 E-mail アドレス：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp】

◆ **出願書類の提出期限：令和９年１月８日(金) 午後５時（日本時間）まで**
＊ インターネットでの登録後、PDF のメール送信とは別に出願書類を提出（郵送）すること。

「２．出願資格」の(1)、(2)、(3)による志願者
上記出願期間に「５．出願手続・検定料の支払い」を参照のうえ手続きを行うこと。

「２．出願資格」の(4)及び(5)による志願者
先に「３．出願資格予備審査」へ申請し、出願資格が認められた後、上記出願期間に「５．出願手続・検定料の支払い」を行うこと。

５．出願手続・検定料の支払い

出願手続きは、以下①～③のすべてが出願期間までに完了（到着）していることが確認されたもののみ受理する。

① インターネットでの出願登録
事前に受入教員から取得したパスワードにより北海道大学インターネット出願サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-sci/）にアクセスし、登録すること。
※ インターネット出願には「プリンター」と「メールアドレス（携帯電話のメールアドレスは不可。）」が必要なので注意すること。

② 検定料の支払い
インターネット出願後に表示される画面に従い、Ⅰ～Ⅲのいずれかの方法で支払うこと。
検定料 30,000 円

Ⅰ ： クレジットカードによる支払い
Ⅱ ： Pay-easy（銀行 ATM、ゆうちょ銀行 ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、PayPay 銀行、楽天銀行による支払い
Ⅲ ： 中国銀聯ネット決済（ChinaPay）による支払い
※ 検定料に加え、別途事務手数料（500 円程度）がかかるので注意すること。
※ 出願時において国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。
北海道大学以外からの推薦による国費外国人留学生採用者は、採用(予定)通知書の写を提出すること。
※ 既納の検定料は、以下の場合を除き返還しない。
・検定料を支払ったが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
・検定料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 出願書類の郵送
インターネット出願後に作成される入学願書・履歴書及び、その他出願に必要な書類（「６．出願書類」参照）を封筒に入れ、出願期間内に必着するように送ること。
なお、提出された出願書類は返却できないので注意すること。

【出願書類送付先】060-0810 日本国 北海道札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当
注）出願期間後に到着した場合は受理しないので、郵便事情等を考慮して発送すること。

６．出願書類

＊　○は必ず提出する書類、△は該当者のみ提出する書類

提出書類		出願資格		備　　考
		(1) (2) (3)	(4) (5)	
1	入学願書・履歴書	○	○※	インターネット出願サイトへ必要事項を入力後に作成される入学願書・履歴書をＡ４判で印刷のうえ提出すること。 **※　出願資格(4)及び(5)による志願者は、出願資格予備審査で出願資格が認められた後に作成・提出すること。**
2	出願資格予備審査申請書		○	〔所定様式〕 インターネット出願サイトから様式をダウンロードして作成すること。
3	写真１枚	○	○	縦４cm×横３cm
4	入学後の研究計画書	○	○	〔所定用紙〕 インターネット出願サイトよりダウンロードし、Ａ４判で印刷のうえ作成すること。
5	修士論文（写）	△		修士の学位を有する者のみ提出すること。
6	修士課程における研究内容の要旨(3,000字以内)	△		修士課程修了又は修了見込みの者のみ提出すること。 ただし、数学専攻に係る「研究内容の要旨」は、「学習及び研究内容の要旨」とする。
7	出身大学院の学業成績証明書	○	○	①参考として、出身大学院の指導教員等の推薦状を添えることができる。 ②出願資格(3)、(4)、(5)による志願者は、最終出身学校の学業成績証明書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
8	日本語能力又は英語能力がわかる証明書	○	○	日本語能力又は英語能力を示す証明書を提出することが困難な者は、日本語又は英語の成績がわかる出身大学院の学業成績証明書等を提出すること。
9	出身大学院等の修了（見込）証明書	○	○	①出身大学院等の長が作成したもの。 （既修了の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。） ◎中華人民共和国（台湾、香港、マカオを除く）の大学院等を修了、または修了見込みの者は、修了（見込）証明書に加えて、英語による以下の書類を提出してください。 既修了者　…a 学歴証書電子登録票（Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate） 修了見込者…a オンライン在籍認証レポート（Online Verification Report of Student Record） 上記のうち、書類aは中華人民共和国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）より取得してください。 また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。 ②出願資格(4)、(5)による志願者は、最終出身学校の卒業（修了）証明書 ③出願資格(3)による志願者は基礎力審査に相当する審査の確認書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
10	パスポートの写し	○	○	パスポートの氏名を記載しているページの写しを提出すること。
11	その他受入教員が要求する書類等	△	△	

７．選抜方法

入学願書・履歴書、最終出身学校等の学業成績証明書、受入教員の推薦書等の出願書類の内容を総合して合格者を決定する。

８．合格発表

合格者について、令和９年１月 28 日(木)16：30 頃に本学院ホームページに受験番号を掲示するとともに、合格者のみに通知する。

９．入学手続及び必要経費

入学手続きについては、合格通知の際に併せて連絡する。
入学料　282,000 円（予定額）
授業料　267,900 円〔年額 535,800 円のうちの前期分〕（予定額）
＊　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

10. 注意事項

① 出願後はいかなる事情があっても志望の変更を認めない。
② 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合や本人以外の写真や容姿を加工した写真を出願書類として使用することは不正行為として取り扱い、入学許可を取り消すことがある。
③ 試験中に、カンニングをする行為、他の受験者へのカンニングの手助けをする行為は不正行為とする。また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用した場合も不正行為とする。なお、イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものと見なす。
ただし、これらの機器の使用に関しては事前に許可があった場合は不正行為から除く。
試験実施の際に本学院の指示に従わない行為を行った場合は不正行為となる場合がある。
④ 不正行為を発見した場合、その場で、受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなり、受験した全ての教科・科目の成績を無効とする等の対応をとる場合がある。
合格後に不正行為が判明した場合には、入学許可を取り消すことがある。
⑤ 病気・負傷や障がい等のために受験上特別な配慮を必要とする場合は、出願までに理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当へ申し出ること。※修学上希望する配慮事項がある場合も併せて相談すること。
《参考》北海道大学入学案内　合理的配慮の提供に関する情報
https://www.hokudai.ac.jp/admission/gouriteki-hairyo.html

11. 長期履修について

本学院では長期履修制度を設けているので、長期履修を希望する者は 15 頁の「長期履修について（案内)」を熟読のうえ、申請すること。

◎出願に関して不明な点等があれば、下記まで連絡すること。

〒060-0810　札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課 大学院教育担当
（窓口受付時間　平日 8:30～12:15、13:00～17:00）
℡ (011) 706-3675　　Email：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院理学院
ホームページ　https://www2.sci.hokudai.ac.jp/gs/

北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項

（趣旨）

第１条　北海道大学大学院通則（昭和 29 年海大達第３号。以下「通則」という。）及び北海道大学大学院理学院規程（平成 18 年海大達第 96 号）に定めるもののほか、北海道大学大学院理学院（以下「理学院」という。）における 10 月入学者の選抜試験実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（対象とする課程）

第２条　10 月入学者選抜試験を実施する課程は、修士（博士前期）課程及び博士後期課程とする。

（出願資格）

第３条　10 月入学を志願することのできる者は、入学しようとする年度の直近の学生募集要項に記載されている出願資格を有する者及び大学院入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者とする。

（出願資格の予備審査）

第４条　10 月入学志願者のうち、次の各号のうちの１に該当する者については、出願資格に関する予備審査を行う。

(1) 修士課程（博士前期課程）に志願する、大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程修了者及び個別の入学資格審査による志願者

(2) 博士後期課程に志願する、文部科学大臣の指定した者及び個別の入学資格審査による志願者

（選抜試験の実施等）

第５条　前４条に定めるもののほか、10 月入学者の選抜試験実施に関し必要な事項は、直近の募集要項を準用する。

付　記（平成 18 年６月１日理学院代議委員会（入試委員会））

１　この要項は、平成 18 年６月１日から実施する。

２　（略）

長期履修について（案内）

１．趣旨

学生が職業を有している等（介護・育児等を含む。）の事情により、標準修業年限（３年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を修了したい旨を申し出たときは、個別に審査のうえ、その計画的な履修（以下「長期履修」といいます。）を認めることができる制度です。

２．対象者

次の各号のいずれかの事由に該当する者で、かつ、当該事由により、学業に専念できないため、課程修了に要する学修（研究）計画年数を予め長期に設定することを希望する者が申請できます。

(1) 官公庁、企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
(2) アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、その負担により修学に重大な影響があるもの
(3) 育児、親族の介護等前２号に準ずる負担により、修学に重大な影響がある者
(4) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めたもの

３．在学期間

長期履修を認める期間は、博士後期課程にあっては６年以内で、年を単位として申請することができます。

また、長期履修を認められた学生が在学できる期間は６年間までです。

なお、理学院において休学を許可することができる期間は、長期履修学生も標準修業年限の学生と同じく３年間までです。

４．申請手続き等

(1) 申請期限

原則として、入学願書提出時に申請してください。

(2) 提出書類等

長期履修申請書類は事前に本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に問い合わせ、早めに取り寄せておいてください。

① 長期履修申請書（様式１）
② 長期履修計画書（様式２）
③ 長期履修が必要であることを証明する書類等

(3) 個別の審査

長期履修の申請があった場合は、個別に審査を行い、その結果を入学試験合格者にのみ（合格通知と併せて）通知します。

５．履修期間の短縮又は延長

本学院において必要と認めるときは、長期履修期間の短縮又は延長を、在学する課程において１回に限り認めることができます。

手続き等の詳細については、入学後に【理学院在学者用】の案内を参照してください。

６．授業料の取扱い

長期履修が認められた者の授業料は、標準修業年限に納付すべき授業料の額（年額×３年）を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定します。なお、授業料の改定又は長期履修期間の変更が許可された場合等はその都度再計算します。ただし、納入済みの授業料を遡って調整することはありません。

【長期履修申請期間に係る授業料は、決定通知があるまで絶対に納入しないでください。】

７．その他

長期履修制度の詳細については、本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当あてお問い合わせください。

指導教員及び研究内容一覧表

令和８年１１月１日現在

博士後期課程

理学院　数学専攻

分　野	指　導　教　員		研　究　内　容	備　考
代　数　系	教　授	朝倉　政典	数論幾何学	
	教　授	澁川　陽一	ヤン・バクスター方程式と量子群	
	教　授	安田　正大	整数論，数論幾何学	
	特任教授	松本　圭司	特殊関数論	令和9年3月退職予定
	准教授	大内　元気	代数幾何学、連接層の導来圏、モジュライ空間	
	准教授	蔡　園青	整数論、表現論、保型L関数、保型表現、被覆群	
	准教授	スクリムシャー，トラビス	組合せ論、表現論、シューベルト・カルキュラス	
	准教授	松下　大介	代数幾何学	
幾　何　系	教　授	秋田　利之	代数トポロジー，群のコホモロジー，カンドル	
	教　授	井ノ口順一	幾何学、可積分系、リー群、等質空間	
	教　授	小林　真平	微分幾何学、可積分系	
	教　授	古畑　　仁	微分幾何学	
	准教授	粕谷　直彦	微分位相幾何学、接触構造、複素構造	
	准教授	川崎　盛通	シンプレクティック幾何学、幾何学的群論、微分トポロジー	
	准教授	野崎　雄太	低次元トポロジー、結び目、曲面の写像類群	
解　析　系	教　授	久保　英夫	非線型ダイナミクスに現れる偏微分方程式	
	教　授	小林　政晴	調和解析	
	教　授	本多　尚文	代数解析	令和11年3月退職予定
	教　授	宮尾　忠宏	数理物理学，関数解析，凝縮系物理学	
	特任教授	洞　　彰人	関数解析，確率論	令和9年3月退職予定
	准教授	梅田　陽子	完全WKB解析，漸近解析，高階パンルヴェ方程式，Stokes幾何	
	准教授	鈴木　悠平	作用素環論	
	准教授	長谷部高広	確率論，関数解析	
	准教授	浜向　　直	非線形偏微分方程式，粘性解理論	
数理科学系	教　授	坂井　　哲	確率論，統計力学，数理物理学	
	教　授	長山　雅晴	反応拡散系，数理モデリング，数値計算	
	教　授	行木　孝夫	エルゴード理論，力学系，複雑系	
	教　授	眞崎　　聡	偏微分方程式，調和解析，変分解析	
	准教授	上田　祐暉	偏微分方程式、数値解析	
	准教授	黒田　紘敏	偏微分方程式，変分解析	
	准教授	佐藤　　譲	複雑系，カオス的力学系	
	准教授	田崎　創平	数理生命科学、微生物学	
	准教授	田畑　公次	オンライン学習、データサイエンス、計算理論	
	准教授	中野　雄史	力学系、エルゴード理論、カオス	

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

理学院　物性物理学専攻

研究室	指導教員		研究内容	備考
固体電子物性研究室	教　授	吉田　紘行	高温高圧合成法を含む多彩な化学的手法により強相関電子系の新物質を開拓し、その性質をバルク物性測定（電気抵抗・磁化・比熱測定や超高磁場中物性計測など）と微視的物性測定（μSRや中性子、放射光X線散乱など）により解明する。 具体的には、フラストレート磁性体の開発と強磁場中量子多体状態の探索、拡張多極子物質の開拓と交差相関現象の探索、スキルミオン物質の開発、アクチノイド化合物の開発と新規超伝導状態や奇パリティ多極子の観察などを行う。	
	助　教	今　布咲子		
	助　教	北澤　崇文		
Jマテリアル 強相関物性研究室	教　授	網塚　　浩	固体内電子のスピン軌道相互作用と結晶構造に内在するパリティ対称性の破れがもたらす新しい物質機能，並びにこれを有する新物質（Jマテリアル）を開発する。極低温・強磁場･超高圧下での熱・磁気・輸送･超音波物性実験および中性子散乱・ミュオンスピン緩和･共鳴Ｘ線回折等の微視的実験を用い，Jマテリアル系に発現する超伝導や磁気相関，電子－フォノン相関，電気磁気交差相関等の現象を調べる。また，固体の古典的，量子的協力現象に関して，それを支配する秩序度と揺らぎに注目し，Ｘ線回折とレーザー分光を用いて構造とダイナミクスの両面から機構解明を行う。さらに電子励起を伴う光励起状態と協力現象が交わり発現する新奇現象を基礎物理学的側面から解明する。	
	教　授	柳澤　達也		
	准教授	武貞　正樹		
	講　師	日高　宏之		
低次元マテリアル物性研究室	教　授	河本　充司	低温グループ（河本、井原、福岡） 分子性物質等の強相関電子系において新しいタイプの超伝導状態や新奇な電子状態について，主として核磁気共鳴（ＮＭＲ）法の手段をもちいてミクロな観点から研究を行う。極低温に至る広範囲な温度領域での磁化，輸送現象等の測定も行う。また，ＮＭＲの誘電体など，他の物性探索への手法の開発も行う。 低次元グループ（松永、延兼） 低次元導体における電子物性の研究。有機・無機物などの低次元電子系特有の超伝導，電荷・スピン密度波，トポロジカル現象等の新奇量子物性を調べる。微細加工を用いたメゾスコピック物理も対象とする。低温，高磁場，高圧下における輸送現象やSQUID磁束計を用いた磁化率の精密測定，極低温走査トンネル顕微鏡測定等により低次元系の電子物性を解明する。 光物性グループ（山本） 光と物質の相互作用を主にレーザー光を用いた分光測定によって研究する。対象となる系は有機物、金属、半導体等である。溶液中分子の発光では液体のダイナミクスに起因する数ミリ秒のエネルギー緩和を扱い、半導体の励起状態緩和の測定ではマイクロ秒からナノ秒程度の時間スケールの緩和現象を扱う。半導体ナノ粒子の研究では化学合成によって数ナノメートルの微粒子を作成し、電子をナノ粒子に閉じ込めた際の量子効果に起因する様々な現象を研究している。 志望研究室調査票にはグループ名まで記載してください。	2027年度受け入れ予定なし
	准教授	松永　悟明		
	准教授	井原　慶彦		
	助　教	山本　夕可		
	助　教	延兼　啓純		
	助　教	福岡　脩平		
量子機能材料研究室	准教授	畑野　敬史	分子線エピタキシ法による高品位成膜技術、半導体プロセスを駆使した微細加工、ヘテロ接合・ストレイン効果などを統合した界面制御を融合させ、機能性材料を用いた高機能デバイス開発および、その中に潜む基礎物性解明を目指して研究を展開する。主な研究対象は鉄系超伝導体をはじめとする15族元素を含む材料群だが、これ以外にも多彩な機能性材料を探索する。最近の研究題目として、以下を掲げる。 １．鉄系超伝導体で拓く高機能量子技術の開発 ２．高性能15族化合物の薄膜化と基礎物性の解明 ３．人工構造による新奇光電融合現象の探索	
統計物理学研究室	教　授	速水　賢	量子統計力学に基づいた理論解析、数値シミュレーション、第一原理計算を相補的に用いた研究を行うことにより、現実物質が示す物性現象の統一的理解、さらには本質的に新しい電子相や量子現象の理論的提案を目指す。最近の研究対象としては、 (1) ミクロな多極子に基づいた電子物性表現論 (2) スキルミオンを含むトポロジカル磁性 (3) 磁性体における創発スピン軌道物性 (4) 電気・磁気・弾性・熱・光自由度間にまたがるマルチフェロイクス現象 (5) 機械学習を用いた新規物性の探索 (6) 電子多極子表現論を用いた第一原理有効模型計算法の開発 (7) キラル物質およびフェロアキシャル物質の普遍的性質の解明	
	講　師	大岩　陸人		
	助　教	奥田　浩司		

研究室	指導教員		研究内容	備考
数理物理学研究室	教授	山本　昌司	強相関電子系，多自由度(電荷，スピン，軌道，格子)結合系に新奇な量子協力現象を開拓ひいては新たな理論的パラダイムの構築を目指す。現象の解明はもとより，その道程たる数理の開発・深化にも数値コーディングと解析計算の両面から力を注ぐ。舞台として(光)格子磁性体，遷移金属錯体・酸化物，有機高分子，現象あるいは計算物理量として量子スピン液体，光スウィッチング磁石，核磁気共鳴，非弾性中性子散乱，ラマン散乱，光学伝導度，角度分解光電子分光。特に最近のキー・ワードとして“トポロジー”を挙げる。幻の粒子マヨラナ・フェルミオン，目に見えないゲイジ(位相)自由度が暗躍する分数励起，５次元周期格子の分身たる２次元準結晶(無理数格子)。物質に潜む美しい対称性の定式化から，実験グループと連携する実証研究まで幅広い。	
	准教授	大原　　潤		
	助　教	井上　天		
量子物性物理学研究室 （電子科学研究所）	教　授	小林　夏野	超伝導・磁性を中心とした量子物質の開発を行う。特に準安定構造を持つ物質に着目し新規構造と新規電子状態の探索を行う。高圧合成を含めたバルク物質合成や真空蒸着による薄膜合成を行い、回折実験・元素分析・電子顕微鏡などを用いた解析と電気伝導・磁化率などの物性測定を行う。	
	助　教	大石　遼平		
	准教授	近藤　憲治	場の理論を用いた輸送現象及び電子構造の理論研究。具体的には，スピン軌道相互作用はSU(2)の非可換ゲージ場と見なせるので，場の理論を用いたスピントロニクス素子のデバイス特性の導出ならびにトポロジカル絶縁体のデバイス応用を目指した理論研究を行っている。また集積化に伴い低次元化を余儀なくされる電子の１電子スペクトラムをGW近似やGWΓ近似を用いて，正確に計算する研究を行っている。	2027年度受け入れ予定なし
先端機能物性理論研究室 先端機能物質物理学分野 （物質・材料研究機構）	客員教授	山瀬　博之	量子多体物性の理論的研究。解析的な理論手法と数値計算を駆使して，高温超伝導，超伝導と磁性の共存・競合，臨界現象と量子相転移，電子液晶等の新規量子状態の解明の研究を行う。電子相関効果という観点から物質の新しい基礎的概念を創出することを目指す。	
ナノスケール光機能研究室 先端機能物質物理学分野 （物質・材料研究機構）	客員教授	長尾　忠昭	ナノスケール材料や表界面に現れる電場増強，光電・光熱変換などの物性を，表界面分析，ナノ分光法を用いて研究する。物理・化学合成やリソグラフィーによりナノ構造制御された材料を製作し，シミュレーションと分析評価とを相互にフィードバックさせながら，エネルギー変換材料や高感度センサー材料の開発を行う。	
強磁場物性研究室 先端機能物質物理学分野 （物質・材料研究機構）	客員教授	今中　康貴	NIMSの先端強磁場磁石を用い，量子ホール系やグラフェン，トポロジカル絶縁体などの様々な物質における電子，スピン物性の研究を行う。特にテラヘルツ波を中心に，ミリ波から紫外光までの幅広いエネルギー領域の分光技術を駆使し，新規物性現象の解明を目指す。	
表面量子相物質研究室 先端機能物質物理学分野 （物質・材料研究機構）	客員教授	内橋　　隆	超高真空・ナノテクノロジー技術を駆使することで，表面界面における二次元量子系を原子・分子レベルで設計･創製し，走査トンネル顕微鏡やその場電気伝導測定などの実験的手法を用いてその未知の物性を解明していく。特に半導体基板表面上に成長する金属原子層やグラフェンを代表とする二次元原子層物質において発現する超伝導やトポロジカル状態に注目して研究を行う。	
ミュオンスピン共鳴研究室 スピン共鳴物性物理学分野 （理化学研究所）	客員教授	渡邊　功雄	理化学研究所の運営する理研RALミュオン施設（英国Rutherford-Appleton研究所）において，素粒子ミュオンを用いた物性研究（μSR法）を行う。金属，絶縁体や有機分子性物質など幅広い物質における磁性・超伝導・産業応用・非破壊分析・ミュオン超微細相互作用などの実験的・理論的研究を行う。また，スパコンを用いた凡密度関数法（DFT法）によるミュオン位置計算を実施し，磁性体における磁気スピン構造の理論的な解析も展開する。	
電子スピン共鳴研究室 スピン共鳴物性物理学分野 （理化学研究所）	客員准教授	大島　勇吾	電子スピンのミクロなプローブ法である「電子スピン共鳴(ESR)」を用いて，凝縮系物質などの物性研究を行う。特に高周波ESRの高分解能を活かし分子性物質の電子状態などを明らかにする。また，従来の測定手法にとらわれない装置を自ら開発し，新たなスピン科学を展開していく。	

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

理学院　自然史科学専攻

令和８年１１月１日現在

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
地球惑星ダイナミクス講座	気象学	教　授	稲津　將	観測、数値モデリング、データ解析を駆使して、主に寒冷地におけるメソスケールからマイクロスケールの気象および雪氷現象の理解を目指す。その目的を達するため、さまざまな関連分野と協働し、新たな観測機器の開発・利用、先端的な数理科学の応用、及び気象モデリングを行う。また、気象情報の社会への還元も重視する。	
		准教授	和田　有希		
	海洋気候物理学	特任教授	見延庄士郎	大気と海洋という地球の流体圏を形成する２大要素が，どのようにお互いに影響して気候を形作りまた気候変動を引き起こしているかを，データ解析と数値計算によって明らかにしようとしている．ガルフ・ストリームや黒潮での大気海洋相互作用といった比較的局所的な問題から，全地球規模の現象までを扱っている．新たな現象の発見と，その奥にひそむ原理の解明を目指している。	令和10年3月退職予定
		准教授	佐々木克徳		
	宇宙測地学	教　授	古屋　正人	人工衛星や宇宙電波を利用して地球や月惑星の意外な姿を明らかにする研究を行っている。地震や火山噴火と電離圏の擾乱，積雪や海洋の変動と地震の発生，重力でみる気候変動，人工衛星の軌道決定と月の重力異常，海面上昇と地殻変動，電波の遅れと大気中の水蒸気，風の強さと一日の長さなど，意外な組み合わせによる新しい地球物理学の創成を目指している。	
		准教授	高田陽一郎		
	地震学	教　授	吉澤　和範	グローバルスケールから微細スケールまで，幅広い空間スケールでの地球内部の不均質構造や地震波動伝播，震源の物理過程等に関する研究を行う．特に独自の波形解析手法やインバージョン法の開発，最先端のAI技術を用いた地震波解析等を通じて，多種多様な観測データへの応用を行い，地球浅部～深部にいたる内部構造や震源の物理等，地球内部のダイナミックな挙動について定量的理解を目指す.	
		准教授	直井　誠		

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

令和８年１１月１日現在

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
地球惑星システム科学講座	岩石学火山学	教　授	栗谷　豪	フィールド調査，室内実験，岩石試料や実験試料の解析・化学分析といった物質科学的手法に基づき，マグマの生成・進化過程，活火山下のマグマ供給系，火山噴火のメカニズム，プレート境界域のテクトニクスやマグマ・熱水活動，地球内部の物質循環過程などの解明を目指した研究を行う。	
		准教授	吉村　俊平		
		助　教	マリ・ピトン		
		助　教	無盡　真弓		
		助　教	北野　一平		総合博物館
	地球化学	准教授	川﨑　教行	宇宙や地球における元素の起源や挙動について広く研究を行なっている．特に，太陽系の起源と進化／隕石等の宇宙物質や地球物質を分析し，大陽系形成前から現在にいたるグローバルな進化と物質循環の研究	
		准教授	馬上　謙一		
	地球惑星物質学	教　授	永井　隆哉	鉱物学，特に，鉱物物理化学・結晶成長学／地球惑星システムの最小単位である鉱物の物理化学的な性質（結晶構造・物性・相変態・反応など）を原子レベルで明らかにすることを目指した実験的研究，および，実験や計算機シミュレーションによる，鉱物の結晶成長メカニズムや相転移機構の原子レベルでの解明を目指した研究/実験を通じた地球，惑星深部物質の相変化，化学反応の研究	
		准教授	川野　潤		
		准教授	篠崎　彩子		
	進化古生物学	教　授	山田　敏弘	古生物学，特に植物の形や生態がどのように進化したのかを、化石・現生の情報から解明する研究／層位学／古脊椎動物学／恐竜や他の爬虫類化石の分類，生理学等の研究，および高画質・高精度のX線CTスキャナーを利用した非破壊による形態解析手法の研究／古生物学・古生物地理学・進化/中生代の海生無脊椎動物を扱い（特に軟体動物），これらのマクロスケールでの多様性変動，分布変動，進化や生物事変を含む諸地球環境変動への応答の解明を目指している。研究にはフィールド調査が伴う。	
		教　授	小林　快次		総合博物館
		准教授	伊庭　靖弘		

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
地球惑星システム科学講座	地球生物圏変動学	教授	沢田　健	生物地球化学・有機地球化学・有機堆積学・サンゴ礁地球環境学・炭酸塩地球化学／分子化石からの古生物・古環境の復元,堆積物・化石中の巨大分子有機物の研究,有機分子指標による堆積システム解析，古海洋・古気候変動の復元，地質試料中の有機物の分析による地球生命史・環境変動史の研究。生体・環境試料を用いた分子化石・有機分子指標の開発。フィールド調査から植物や藻類の代謝産物の解析まで幅広く取り組む。生物源炭酸塩に記録される地球表層の環境変動の研究。特に，サンゴ礁に生息する生物骨格のバイオミネラリゼーションの解明及び古環境解析	
		准教授	渡邊　剛		
		助教	池田　雅志		

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

令和８年１１月１日現在

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
多様性生物学講座	多様性生物学	教　授	柁原　　宏	海産無脊椎動物の系統分類学／比較形態学／分類形質の探求・評価に関する研究。日本近海に産する海産無脊椎動物の多くは分類学的に未解決の問題を残しており,今後の調査・研究が必要である。地球上にはどのような生物が存在しているのか，それらはどのように進化してきたのかを知ることが究極の目的である。	
		講　師	角井　敬知	海産無脊椎動物，特にタナイス目をはじめとする小型甲殻類を対象に研究を行っている。形態比較と分子系統解析を用いた分類学的・系統学的研究を主軸に，生活様式や性表現，生殖様式の多様性とその進化過程の解明にも取り組んでいる。	
		特任教授	小亀　一弘	海藻類，おもに褐藻類についての形態・生活史・分子系統学的解析・DNAハプロタイプ解析をもとにした系統・進化・種内構造・生物地理に関する研究を行っている。さらに,生態観察・交雑実験による生殖隔離状況の解明や無配生殖・生活史型の多様性と進化に関する研究にも取り組んでいる。	令和10年3月退職予定
		講　師	仲田　崇志	緑色微細藻類の分類を中心とした研究を行っている。微細藻類の中には未記載の種も非常に多いが，形態での識別が困難とされる種も多い。そこで，培養株を確立し，遺伝子配列に基づく系統解析や，電子顕微鏡を用いた微細構造の比較，培養特性などを総合的に用いることで，進化を反映した分類体系を構築することを目指している。	
		助　教	ケビン・ウェイクマン	I study biodiversity and evolution of marine micro-eukaryotes. I am most interested in marine apicomplexans -- parasites of invertebrates, as well as dinoflagellates and their related toxic compounds. I conduct field work including deep sea dredging, and SCUBA diving around Japan (Hokkaido, Okinawa, and Kobe), and in Canada.	
		教　授	髙木　昌興	日本列島，特に南西諸島を調査地として，フィールドワークを主とした鳥類の生態解明に取り組んでいる。大小様々な面積の島から構成される日本列島では，進化生物学的に非常に有用な研究素材が提供される。音響学，分子生物学，地理情報システムなどの手法を用い，多面的に研究を展開している。	
		助　教	澤田　明	個体識別された島の長期研究個体群を用いた、進化の研究に取り組んでいる。南西諸島のリュウキュウコノハズクを主な研究材料としている。特に配偶者選択や個体群動態、生活史進化に興味を持ち、野外での地道な生態観察から研究室での遺伝子解析までさまざまな手法を用いている。	
		准教授	阿部　剛史	日本近海と，それに関連深い東南アジア・極東ロシアの海藻が研究対象である。中でも，世界で百数十種とされるソゾという海藻に着目している。ソゾの大半は，種や地域個体群ごとに異なる，臭素などのハロゲンを含む独特の抗菌化合物を持っており，これに関わる興味深い事実が次々と見いだされている。	総合博物館
		准教授	加藤　　徹	昆虫を主な研究対象とし，DNAの遺伝的変異を指標に，種の系統関係や集団の歴史を探る研究を行なっている。これには，分子系統学，分子進化学，集団遺伝学等の分野が含まれる。昆虫は既知の生物種全体の半分以上の割合を占めていることから，彼らの進化の様相を解明することで，生物多様性の起源について理解を深めることを目標としている。	

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

令和８年１１月１日現在

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
科学コミュニケーション講座	科学技術コミュニケーション研究室	准教授	川本　思心	社会の中の様々な科学技術コミュニケーション活動を科学技術社会論のアプローチで質的・量的に分析することで，実践に資する知見を得ることを目標としている。特に，科学技術の両義性や、異なる専門間のコミュニケーション，専門家が創出する非専門的コンテンツに着目した事例研究に力を入れている。	
	科学基礎論研究室	教　授	松王　政浩	科学技術をめぐる「社会的なレベルの合理的選択」はいかにして可能か。こうした，科学技術と社会をめぐる哲学的な問題の分析を，種々の具体的な事例に則しながら行っている。また一方で，科学知の確からしさに関する因果性や帰納の問題，ライプニッツ以降の時間・空間論といった科学哲学のコアな問題にも取り組んでいる。	
	教育デザイン研究室	准教授	岩間　徳兼	心理学，教育工学，教育測定学といった学問領域の考え方をベースに，効果的，効率的，魅力的な学習方法，教育方法を考え，実証を通じた提案を行う。研究室で扱うテーマは計量的手法に基づく評価・測定法，統計教育，学習・教授の設計等である。	教育イノベーション機構
		准教授	奥本　素子		教育イノベーション機構
	コミュニケーション・メディア研究室	教　授	重田　勝介	コミュニケーション・メディア研究室は，教育工学を専門とし，ICTを活用した教育実践研究を推進する人材を育成しています。研究対象には，教育におけるコミュニケーション・メディアの有効性や効果，ICTの教育利用，eラーニングの設計や開発，オンライン授業の実践研究が含まれます。研究室では，学生は指導教員と協同して教育実践研究に取り組むことで，研究者としてのスキルや能力を身につけ，現代の教育に求められる新しい視点を得て，教育現場や社会に貢献することを目指しています。	情報基盤センター
		准教授	杉浦真由美		教育イノベーション機構

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

令和８年１１月１日現在

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
地震学火山学講座	地震観測研究分野	教　授	大園　真子	災害の軽減を目指し，北海道周辺の地震や地殻変動を地震計・GNSS・重力計など様々な計測機器で観測し，海溝型巨大地震が発生する千島海溝の地殻活動や，地震活動の時空間変化，大きな被害をもたらす内陸地震の発生メカニズム，北東アジア地域の広域テクトニクスや火山活動等の地球物理学的な観測研究を，関係機関や近隣諸国と共同で実施している。地域防災への協力や，地熱資源に関する調査も積極的に行っている。	
		教　授	高橋　浩晃		
		准教授	勝俣　　啓		
	海底地震津波研究分野	教 授	村井　芳夫	海域における巨大地震発生場である深海底下の地殻・上部マントルでの固体地球物理学的現象を解明するために，全国の大学，研究機関と協同して日本海溝・千島海溝周辺の地下構造探査，地震観測等を実施している。また，巨大地震の発生過程を解明するための解析手法を開発し，モデル化を実施している。さらに，津波災害軽減を目指した，津波の予測手法等に関する研究を実施している。	
		准教授	山中　悠資		
		助　教	福島　駿		
	火山活動研究分野	教　授	青山　　裕	地震・地殻変動・地磁気など地球物理学をベースとした観測的アプローチを中心に火山噴火のメカニズムや噴火予知の研究に取り組んでいる。道内の活火山における観測網から得られるデータを背景に，「火山活動」という地球内部からのメッセージを解読するため，他大学や気象庁などとも共同して国内外の火山で研究を行う。次世代の地球科学を担う新しい観測手法の開発にも力を注いでいる。	
		准教授	田中　　良		
		助　教	村松　　弾		
	地下構造研究分野	教　授	橋本　武志	地震や火山噴火の発生場としての地下構造を，電磁波等を利用して調べる研究を行っている。また，地震や火山活動に伴う地下構造の変化を調べ，予測に役立てる研究も推進している。	

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。